

競 技 注 意 事 項

1 規則について

本大会は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

2 練習場及び練習について

- (1) 大会当日のトラック競技・フィールド競技の練習は本競技場で行うが周囲に十分注意して行うこと。なお、雷管を使用したスタート練習は禁止する。
- (2) 本競技場でのフィールド種目の練習は、競技開始30分前から（棒高跳は60分前から）行うことができる。ただし、競技役員の指示に従うこと。
- (3) 大会前日および大会当日の練習は、下記の通りとする。

練習可能日	練習可能時間	
	白波スタジアム	補助競技場
5月1日(土) (前日)	15:00~18:30 (ただし円盤投およびやり投の練習は補助競技場)	16:30~18:30
5月2日(日) (1日目)	7:30~9:00	7:30~17:00
5月3日(月) (2日目)	7:30~9:00	7:30~17:00

- (4) 練習はすべて競技役員の指示に従い、指定された場所、指定された時間の範囲内で事故防止に万全を期し行うこと。ただし、競技運営の関係上、練習を一部制限することがある。

3 競技用靴について（競技規則TR5.2.3.4.5.6を参照）

スパイクピンの数は11本以内とし、長さは9mm以内、走高跳・やり投は12mm以内とする。

4 競技者の招集方法について

- (1) 招集時間は競技日程に記載の時間による。
- (2) 招集所はバックスタンド下（雨天練習場）に設置する。
- (3) 招集は、1日目および2日目の最初の種目のみ招集所にて行う。以後の種目の招集は混成競技係の指示に従い、各競技場所にて実施する。
- (4) 代理人による点呼は認めず、招集完了時刻を超えた場合には、当該種目を棄権したものとして処理する。
- (5) 招集の際に、アスリートビブスや広告規程に関する確認も併せて行う。なお、競技規則TR6.3により競技区域内での所持や使用を制限されている機器や装置を持ち込むことはできない。

5 アスリートビブスについて（競技規則第 TR5.7.8.9.10 を厳守）

- (1) アスリートビブスは、3枚（胸・背・手荷物用）配付する。
- (2) すべての競技者は、ユニフォームの胸・背に折らずにつけること。ただし、跳躍競技は胸・背いずれかにつけるだけでよい。
- (3) トラック種目では、配付した腰ナンバー標識を右腰に確実につけること。

6 競技について

- (1) トラック競技の計時はすべて写真判定装置を使用する。トラック競技のレーン順は、プログラム記載順による。
- (2) トラック種目においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者は失格となる。
- (3) ハードルの高さや投てき種目の重さについては以下のとおりである。

ハードル種目の高さ	男子	110mH 1.067m
	女子	100mH 0.838m
投てき種目の重さ	男子	砲丸投 7.260kg 円盤投 2.000kg やり投 800g
	女子	砲丸投 4.000kg やり投 600g

- (4) 欠場する者は、欠場届（JAAF36書式）に必要な事項を記入し大会前日までに鹿児島陸協事務局へ提出すること。大会開催中は「TIC」に提出のこと。

7 競技方法について

- (1) 走高跳は、A、Bの2つのピットで実施する。組分けは競技者の申請により決定し、試技順はプログラム記載の順番を原則とする。競技者は、走高跳は1日目、棒高跳は2日目の最初の招集時に希望する最初の高さを申請すること。

- (2) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は以下のとおりとする。

種目	練習	最初のバーの高さ	バーの上げ方
男子走高跳	複数設定	1m77	+3cm
女子走高跳	複数設定	1m35	+3cm
男子棒高跳	複数設定	3m60	+10cm

- (3) やり投の開始時刻は競技日程を基本とするが、棒高跳が終了した競技者でグループ編成し、時間差をつけて開始する場合がある。開始時刻は、各競技者の棒高跳終了時に連絡する。
- (4) 100m, 100mHについては、30分前までに使用する走路（メイン・バック）を発表する。
- (5) 十種競技の最終種目 1500m は、9 種目の合計得点順にレーン内側から整列する。腰ナンバー標識も得点順に 1 からとする。
- (6) 七種競技の最終種目800mの組分けとレーンについては、6 種目合計得点の高いグループを最終組とする。

8 競技用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。ただし棒高跳用ポールは、個人所有のものを使用できる。また、「やり」については、公表された競技場備え付け用具リストにないものは、持ち込みを認める。持ち込み希望者は、当該種目の競技開始60分前までに、TICに届けること。ただし、検査に合格した用具は一括借り上げとし、参加競技者で共有できるものとし、競技終了後にTICにて返却する。競技中に破損が生じても主催者は一切の責任を負わない。
- (2) フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したものを2個まで、サークルからの投てき種目では1個置くことができる。個人の所有物は使用できない。

9 競技場への入退場について

招集所からの競技場への入場および競技終了後の退場は、競技役員の指示による。

10 表彰について

1位の競技者には、最終種目終了直後に、メインスタンド正面玄関前で記念品の贈呈を行なう。

11 更衣室及び選手控え所について

- (1) 競技者控室は、男子：トレーニング室、女子：第4会議室とする。
- (2) トレーナーステーションはメインスタンド下、雨天練習場に設ける
- (3) 競技者控室および競技場1階への立ち入りは ADカードでコントロールする（カードを着用していない者は立ち入りできない）。ADカードは、出場競技者1人に2枚を配付するが、3名以上の出場者がいるチームでも、最高5枚までとする。
- (4) 更衣室内のシャワー室も使用可能である。更衣後の荷物は各自で管理すること。
- (5) 貴重品は各自で保管すること。万一の事故があっても主催者は責任を負わない。また、ごみの後始末は各自で行うこと。

12 ドーピング・コントロールテストについて

大会競技要項を参照

13 一般注意事項

- (1) 競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等に表示されている商標は、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に示すサイズを超えてはならない。これに違反したものについては違反箇所をテープ等で隠すこと。
- (2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。
- (3) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。医務室は本競技場メインスタンド1階に設置する。
- (4) 届けられた遺失物については大会本部で保管する。
- (5) 記録はその都度発表するが、鹿児島陸協ホームページにも掲載する。
- (6) 「記録証明書」を希望する競技者は、「TIC」に200円を添えて申し込むこと。
- (7) スタンドを含む競技場内への応援用のぼり・旗等の掲出、展示は「競技会における広告および展示物に関する規程」に基づく。

14 その他

- (1) プログラムに誤記がある場合には、第1日9時まで、「TIC」へ申し出ること。
- (2) ポールの返送を希望する者は、「TIC」に申し出ること。